

## 令和 5 年度第 3 回 次世代道路網あり方委員会 意見と対応

## 【道路整備計画に関する意見と対応】

No	資料該当部分	発言者及び意見要旨	対応方針
1	路線選定 選定の考え方	森本委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な選定は基本方針毎に総合選定を実施すると記載がされているが、横断的に実施しない印象を受けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選定の考え方について、総合的な選定として、各方針をとりまとめて選定していることがわかるように、表現方法の見直しを行った。</li> </ul>
2		久保田会長 <ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な選定として、「財政フレーム」等により選定していることを記載しておいた方がよい。</li> </ul>	
3	計画書 整備イメージ図	森本委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>4車線道路のイメージでは、住区街路で車道の線が強く、道路の方に優先権がある認識をされてしまう。</li> <li>10年先のイメージのため、「自動運転」や「ライジングボラード」や「自動宅配ロボット」などがイラスト化されているとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見を踏まえ、整備イメージ図を更新した。【資料 3-2、3-3】</li> </ul>
4		三浦委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>4車線側の図で横断歩道を短くした方がよい。</li> <li>グリーンインフラについて、歩きたくなるまちづくり、災害面への配慮等の機能面を表現されているとよい。</li> </ul>	
5	検討プロセス	三浦委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民参加をしっかりとやっていただいた認識のため、ここでもQRコードを掲載して結果の詳細を示した方がよいと考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画の検討プロセスを、市のHP内で公表するとともに、計画書内にQRコードを掲載した。【資料 3-2】</li> </ul>
6	路線一覧	久保田会長 <ul style="list-style-type: none"> <li>第三期計画と比較して歩道拡幅がより選定される結果となったとあるが、歩道拡幅部分については市民にも示した方がよいと考えているが検討できないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画書の事業化予定路線（新規追加路線）に、各路線が何の基本方針で選定されたかを追加し、歩道拡幅の路線を分かるよう掲載した【資料 3-2】</li> </ul>

【次世代道路網の実現に向けた今後の取組に関する意見と対応】

No	資料該当部分		発言者及び意見要旨	対応方針
1	検討体制	人材育成・業務改善WG	森本委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>プランニングWGや人材育成WGは、今後10年継続的に庁内で実施する認識でお間違いないか。そうだとすると、人材育成・業務改善WGの文章が少しもの足りない気がしている。「経験者が不可欠である」などの文末にしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘を踏まえ、会議体の記載を修正した。【資料2】</li> <li>※なお、今年度は、人材育成・業務改善WGを3回実施している。</li> </ul>

## 令和5年度第3回 次世代道路網あり方委員会 議事要旨

1日 時 令和5年11月15日（水）15：30～16：50

2会 場 さいたま市役所 ときわ会館 中ホール

3出席者 委員9名

（久保田尚、森本章倫、三浦詩乃、本多建雄、古市正典、中島栄一、高橋良久、都築英幸、藤巻雄幸）

※敬称略

4欠席者 委員2名

（関澤貴史、福島薫）

※敬称略

### 5 議題

(1) 本委員会について

1) 令和5年度第2回委員会の意見と対応

2) 本委員会の枠組み

(2) 道路整備計画について

1) 整備路線の選定

2) 次期道路整備計画の素案

(3) 次世代道路網の実現に向けた今後の取組

6 公開又は非公開の別 非公開

7 傍聴者数 なし

### 8 議事要旨

(1) 開会

1) 公開又は非公開

本日の委員会は、さいたま市情報公開条例の第7条(4)に記載されている審議、検討又は協議に関する情報に該当するため非公開とする。

## (2) 議題

### 1) 本委員会について

事務局より資料1「令和5年度第2回委員会の意見と対応」及び資料2「本委員会の枠組み」の説明を行った。

森本委員 資料2のP.2に記載している検討体制で質問がある。最終的に意思決定するさいたま市は議会等で承認する認識で良いか。

事務局 市長が承認するイメージである。

### 2) 道路整備計画について

事務局より資料3「整備路線の選定」及び資料4「次期道路整備計画の素案」の説明を行った。

森本委員 資料3のP.5で総合的な選定は基本方針毎に総合選定を実施すると記載がされているが、横断的に実施しない印象を受けている。一方で、資料3のP.18では財政フレーム等で総合的に実施すると記載している。記載内容によって認識違いが起こる可能性があるため、資料3のP.18の記載に合わせた方が良い。

事務局 資料3のP.5に記載されている灰色部分が各方針での総合評価であり、水色点線部分が財政フレームのイメージである。

森本委員 資料3のP.5に記載されている一番後ろの矢印が3本あるため、それが誤解の原因となっている。

事務局 表現方法を検討する。

久保田会長 どうしても資料3のP.5ではP.18の再現ができていないように見えるため、「財政フレーム」等を2～3行で良いのでコメントボックスで記載しておいた方が良い。

三浦委員 歩道拡幅は評価の算定にグリーンインフラ的な視点が含まれているのか、また、これからの道路計画に向けてどのように便益として入っているのかご教授いただきたい。

事務局 基本方針3については、費用便益評価は実施していない。基本方針3では、歩道整備に必要なデータを用いて算定している。ただし評価の中にはグリーンインフラ等の視点は入っていない。

三浦委員 都市計画マスタープラン等の「等」の部分が気になったためご質問させていただいた。

事務局 「等」の部分として、都市計画マスタープランにはビジョンがあり、

その中で取入れられている路線を含めているという状況である。

- 三浦委員 環境部分などについて担保できているのか気になっている。
- 事務局 実際の道路整備をする際には、植樹帯の整備や植樹柵の整備を実施する。
- 久保田委員 資料3のP.5には、「都市局 道路計画課」と記載されている。「都市局」と「建設局道路計画課」の認識で良いか。現状の記載内容では、違和感がある。課の名前を入れる必要があるのかなど、ご検討いただきたい。
- 事務局 都市局では複数課にまたがっているため都市局としているが、表現方法を検討する。
- 久保田委員 資料3のP.16は、自転車と歩行者の現在の交通量で選ばれる仕組みになっている。例えば、浦和駅の周りなどがあまり選定されていない認識であるが問題ないか。また、地区交通プランを今後検討していく中で、十分な選定結果になっているのかについてご確認させていただきたい。
- 事務局 総合的な選定としてバランスを考慮し路線を選定している。資料3のp.22で記載されている基本方針3は、地区交通プランも踏まえた選定であり、地区交通プランに寄与する路線も該当する。
- 久保田委員 結果的にフォローできているのであれば問題ない。
- 中島委員 我々は、大宮駅周辺や浦和駅周辺でのまちづくりを実施している。対象路線が少ないことについて私の方でも気にしていたところである。地区交通プランでは計画の内容も確認する認識のため、定量的な評価だけでなく、定性的な評価もされるのか。
- 事務局 地区交通プラン内の道路は、道路整備計画で整備するというよりも地区交通プラン内で検討するのが基本認識である。ただし、それに伴って周辺道路に影響が出る場合は、道路網計画で検討し道路整備計画で受けるイメージである。
- 久保田委員 具体的な内容で恐縮であるが、西浦和の駅周辺ではまちづくりが進んでいると伺っている。今回の結果を見ると、そのようには見えないが問題ないか確認させていただきたい。
- 事務局 西浦和駅周辺のまちづくりについては、まずは、道路網計画で受けてもらう形としたいと考えている。
- 森本委員 資料4-1のイメージ図について確認させていただきたい。4車線道路のイメージでは、住区街路で車道の線が強い気がしている。このイメージ図では、道路の方に優先権がある認識をされてしまう。また、10

年先を示したイメージ図のため、「自動運転」や「ライジングボラード」や「自動宅配ロボット」や「シェアリングのポート」などがイラスト化されていると良い。なお、東京都都市整備局では自動運転社会を見据えた都市づくりの在り方を HP に掲載している。そこでもイメージ図を示しているので参考にさせていただきたい。

事務局 修正対応する。

三浦委員 資料 4 のイメージ図で気になる部分がある。4 車線側の図で横断歩道を短くした方がよいと考えている。また、資料 4 を活用してパブコメを実施する認識で良いか。市民からコメントをいただく際にこの内容で十分かについて再度ご確認いただきたい。

事務局 パブコメは、資料 4-1 をベースに実施するため、本日の委員からのご意見を反映して修正していく予定である。

久保田会長 資料 3 の P.21 で第三期計画と比較して歩道拡幅がより選定される結果となったとあるが、具体的にどこが選定されているのか把握できる部分はあるか？資料 4-1 の図面にも関連する内容である。市民の方は気にするところである。

事務局 あえて資料としては見せない方針としている。久保田会長からのご指摘部分は、基本方針 3 のためピンク色部分が該当し、延長は 2.5km である。

久保田会長 資料 4-1 では方針ごとに示さないことは承知した。ただし、歩道拡幅部分については市民にも示した方がよいと考えているが検討できないか。

事務局 修正対応する。

久保田会長 対応をお願いしたい。

三浦委員 資料 4-1 の P.4 で市民参加をしっかりとっていただいた認識のため、ここでも QR コードを掲載して結果の詳細を示した方がよいと考えている。

事務局 多くのご意見をいただいたため、資料の修正を実施して、委員の皆様にも再度確認いただきパブコメに進みたいと考えている。

久保田会長 与野大宮道路について、資料中に大きく掲載していただいた。ここは、データで示すというよりも、将来の計画や構想を見据えたスタンスで良いと考えている。検討いただきたい。

事務局 承知した。

### 3) 次世代道路網の実現に向けた今後の取組

事務局より資料5「次世代道路網の実現に向けた今後の取組」の説明を行った。

久保田会長 P.4 に方法が記載されているが、歩行者データは、どのようなデータでどのように集めるのかお教えいただきたい。

事務局 歩行者データは、携帯電話のGPSデータを入手して分析を実施することとしている。

森本委員 P.5 について確認したい。プランニングWGや人材育成WGは、今後10年継続的に庁内で実施する認識でお間違いないか。そうだとすると、人材育成・業務改善WGの文章が少しもの足りない気がしている。「経験者が不可欠である」などの文末にしていただきたい。

事務局 承知した。

三浦委員 モニタリングのデータで気になる部分がある。各地区の地区交通プランでもデータが欲しいと言われる場面が出てくることが想定される。GPSデータなどは高価なので利用できなくなるなど問題が出ないか心配である。

事務局 行政の予算が減っているところではあるが、提供可能なデータは随時提供する予定である。

以上